



### 千年の木に学ぶ

桜の花が美しい季節を迎えました。こうべ小学校「26回目の春」です。本日、進級した719名の子供たちや転入教職員11名と共に、本校は元気いっぱい令和3年度のスタートを切りました。そして、明日の入学式には、新一年生166名を加え、チームこうべは全てのメンバーが揃うことになります。

さて、今年の桜は卒業式前に咲き始め、新年度準備をしている頃に、今を盛りと咲き、子供たちの出発を祝ってくれているように感じました。桜の木々を見ていると、最後の宮大工の棟梁と言われた西岡常一氏（法隆寺などの古い寺の修復や再建を果たした人）の言葉を思い出します。

- ①千年生きた木は、切って柱にしても、千年経っても生きている。法隆寺の柱にはかんなをかけると、今でもプーンとヒノキの生きた匂いがする。
- ②木にはそれぞれ個性がある。個性の強い木ほど生命力が強く長持ちする。
- ③山の中腹以上に生えている木は、日光をしっかり浴び、風や嵐にも打たれて育つため強い柱として使える。反対に、谷に生えている木は、水分や養分を十分もらって育つが強さ足りず、板としてしか使えない。

人の育ちも木とそっくりであることに気づかされます。若木である885名の子供たちが、新しい学校、新しい学年で、たくさんの人やもの・出来事と出会い、自分らしさを発揮しながら切磋琢磨し、自分のよさに気づき、友達のよさも認められる心の広い、強く優しい人に育って欲しいと願っています。

本校では今年度、以下のように目標や子供像、指導の力点を定め、子供たちがその子らしい香り（個性）を放ち、生命力旺盛に、社会（集団）に積極的に関わっていく姿を追求して参ります。

- ★令和3年度教育目標  
「やさしい子 すすんで学ぶ子 元気な子」
- ★具体的な目標
  - あいさつ・返事ができる子                      ●気持ちのよい言葉遣いができる子
  - 人の話が聞ける子                                      ●自分の考えを表現できる子
  - 見通しを持って自ら行動できる子              ●はじめをつけて行動できる子
- ★職員の研修テーマ「子供同士が関わり合う授業づくりをめざして」  
 楽しもう。やってみよう。チャレンジしよう。  
 ～なりたい自分を目指して仲間と関わり合う体育学習～  
 教育委員会2年間指定の近畿小学校体育研究会を10月8日に行う予定です。

最後になりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、予定通りにいかないことや急な変更等が起きることが予想されます。護者・地域の皆様におかれましては、今までと変わりませぬ温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます。

(校長 中田 宗義)